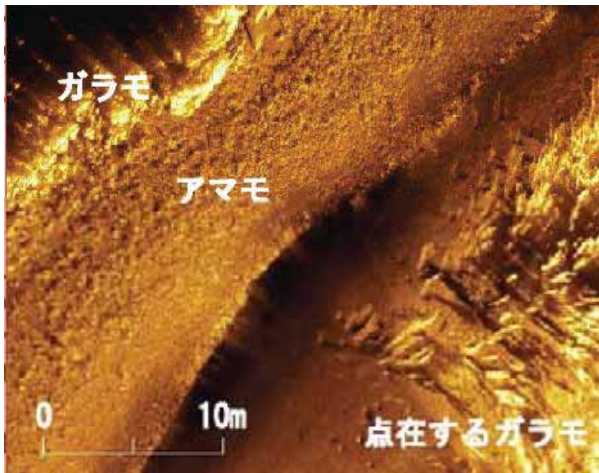


兵庫県藻場造成指針

藻場は、水産資源の維持・繁殖、海域環境の保全において重要な役割を果たしています。しかし、埋立等によりその面積は減少しており、早急な回復が望まれています。藻場を造成するためには、現時点における藻場の分布状況の把握が必要ですが、藻場の実態把握は、1990年の環境省の調査以来実施されていません。そこで、今後の藻場造成を計画的に推進するための基礎資料として、「藻場マップ」並びに「藻場造成指針」を作成しました。

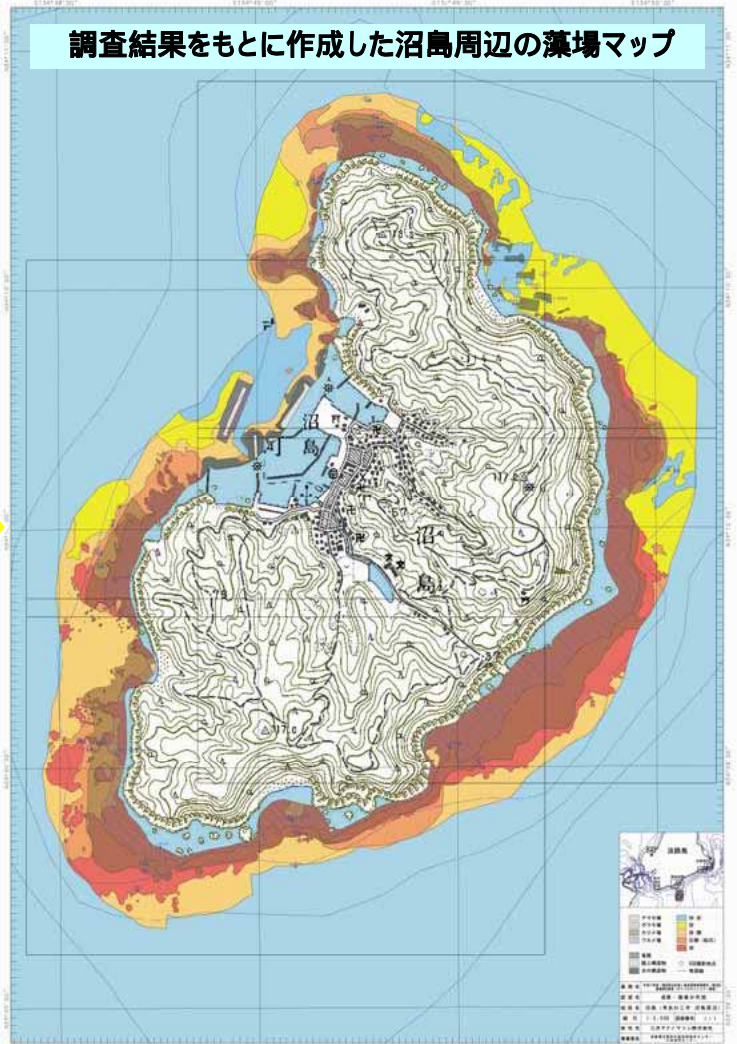
藻場の実態把握調査と藻場マップの作成

藻場が減少している瀬戸内海側の主要な場所において、藻場分布、海底地形・地質を広範囲にわたり効率的に把握出来るデジタルサイドスキャンソナーを使って調査を行い、その画像をもとにGISソフトにより「藻場マップ」を作成しました(2006、2007)。



デジタルサイドスキャンソナーにより撮影した画像
(藻場を構成する藻の種類がわかります)

調査結果をもとに作成した沼島周辺の藻場マップ



藻場造成指針の作成

事前調査	<p>造成予定地周辺での藻場の変遷</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去と現在の藻場の種類、繁茂範囲、繁茂水深を調査し、藻場の衰退や消滅要因を推定する。 <p>基盤・孢子・環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 着生基盤や天然藻場の状況、海域の環境等を調査し、造成予定海域の特徴を把握する。
藻場造成計画	<p>造成場所、対象海藻、造成時期、基盤、孢子供給、環境制御等の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 造成場所で生育可能な海藻を対象海藻に選定し、整備する着生基盤、孢子供給の方法、藻場の形成阻害要因となる環境因子の制御等を検討する。
藻場造成	<p>基盤整備・孢子供給(核藻場)・環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 投石、ブロックなどの新しい基盤を適正な配置で設置する。 孢子供給の基となる核藻場を形成するための母藻や種苗を移植する。 藻場阻害要因となる浮泥の抑制及び除去、付着動物や競合海藻を除去する。
維持管理 (モニタリング)	<p>造成後の維持管理とモニタリング</p> <ul style="list-style-type: none"> 造成後は維持管理目標を設定して定期的なモニタリングを行い、目標の達成度を確認する。 維持管理の過程で重大な問題点が生じた場合は、藻場造成計画にフィードバックし、計画の再検討を行う。

順応的管理

< 今後の展望 > 今後は「藻場マップ」、「藻場造成指針」を漁業関係者及び海域の開発行為に携わる機関に提示し、藻場の維持・回復に役立てます。